

## 学校経営評価アンケートの結果について

「保護者アンケート」「生徒アンケート」「教職員アンケート」「学校評議員からの評価」を行いました。

今回いただいた意見、要望をこれからの学校運営に生かし、保護者や地域の方々と協力しながら、よりよい教育活動を進めて行きたいと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

### 【保護者アンケート結果】

#### ○肯定的な回答が多かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が85%以上のものが7項目ある。  
これは、ほぼ昨年と同じ程度である。
- ・その中でも特に肯定的な回答が以下の3項目である。

「21  お子さんは楽しく学校生活を送れている」	91%
「13  学校行事は、生徒が主体となり充実した活動になっている」	90%
「 9  健康・体力の保持増進に努めている」	88%

#### ○肯定的な回答が比較的低かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が75%以下のものが12項目ある。
- ・その中でも特に肯定的でない回答が以下の9項目である。

「 2  学校は、家庭学習の習慣が付くような取り組みを行っている」	56%
「 4  学校で、進路や将来の生き方について適切に指導している」	69%
「 5  必要な進路指導の情報を生徒や保護者に発信している」	67%
「 6  特別に支援の必要な生徒など一人ひとりを大切にした指導を行っている」	64%
「10  家庭でも、予習または復習などの習慣が付くような手立てを行っている」	51%
「11  お子さんは、小テスト、定期テストや実力テストに向かってしっかり取り組んでいる」	63%
「12  授業では、アクティブラーニングを取り入れた学習を行っていくようになることを知っている」	49%
「17  学校は、一人ひとりを理解し、個性を大切にする指導を行っている」	69%
「25  学校は、保護者と連携して指導にあたっている」	69%

## 【生徒アンケート結果】

### ○肯定的な回答が多かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が85%以上のものが18項目ある。  
これは、ほぼ昨年と同じ程度である。
- ・その中でも特に肯定的な回答が以下の10項目である。

「31 交通ルールを守り、安全に登下校している」	96%
「6 学習用具（教科書、ノート、筆記用具等）は忘れないで持っていく」	94%
「11 人の話をよく聴くようにしている」	94%
「23 施設や設備は、危険がないように整備・管理されている」	92%
「28 周囲の友人に親切にしている」	92%
「2 積極的に授業に取り組んでいる」	91%
「26 学校行事に積極的に参加している」	91%
「29 仲間と協力して活動している」	91%
「19 服装や身だしなみ（名札忘れ、靴のかかと踏み、ハンカチ等）は整っている」	90%
「25 先生方から基本的な生活習慣や社会的なルールやマナーの指導が行われている」	90%

### ○肯定的な回答が比較的低かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が75%以下のものが7項目ある。
- ・その中でも特に肯定的でない回答が以下の4項目である。

「16 自分の活動について、周囲から信頼されていると感じる」	60%
「17 自分の活動について、先生から信頼されていると感じる」	60%
「8 家庭学習の習慣がついている」	63%
「30 悩みや困ったことがあるときは、先生に相談することができる」	65%

## 【教職員アンケート結果】

○各質問項目に対して「十分達成できた」「おおむね達成できた」という回答が、89%を占めており、職員は概ね、学校教育目標が達成できていると感じているといえる。具体的には以下の事が読み取れる。

- ・学習指導に関して、ティーム・ティーチングや少人数指導等、指導法の工夫・改善を図り職員は創意工夫を意識して行っている。
- ・新学習指導要領で示されている、アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）の推進も職員は意識して推進している。
- ・学校行事に関しては、学校の教育目標が達成できる特色ある内容になっており、生徒にとって魅力あるものにするために工夫や改善が行われている。
- ・いじめ、不登校等の問題が起きたときの報告・連絡・相談を踏まえた、組織的に対応できる体制はかなり整ってきており、今後とも生徒一人ひとりを大切にした生徒指導を継続していきたい。保護者との連携を図っていくことも更に推進していきたい。
- ・道徳が教科化された事に伴う計画、実践については概ね良好であり、道徳の時間を中心に道徳教育が行われている。
- ・地域との連携は活発で有り、今後も継続していきたい。
- ・学校関係者評価として、小テストの実施により、達成感を味わわせる指導やチャンスの機会を増やすことは、生徒に自信を持たせる上でとても有効な取り組みと高い評価をいただいた。

## 【学校評議員等からの評価】

良好と評価できる中でも上位を示す項目は以下の項目である。

「21 お子さんは楽しく学校生活を送れている」	91%
「13 学校行事は、生徒が主体となり充実した活動になっている」	90%
「9 健康・体力の保持増進に努めている」	88%
「16 学校は、服装や礼儀への適切な指導を行っている」	86%

以上の項目については、自己評価、学校関係者評価そして生徒のアンケート調査共に共通して高い評価結果となっており、年度当初から全校あげて高い意識で取り組む事を確認していたことの成果であると考えられる。昨年も同様の結果を示していることから本校の良き伝統が定着していると捉えたい。

### 1 課題、今後の重点

#### (1) 課題

下位の項目として以下の項目があげられる。

「12 授業では、アクティブラーニングを取り入れた学習を行っていくようになることを知っている」	49%
「10 家庭でも、予習または復習などの習慣が付くような手立てを行っている」	51%
「2 学校は、家庭学習の習慣が付くような取り組みを行っている」	56%

- 「11 お子さんは、小テスト、定期テストや実力テストに向かってしっかり取り組んでいる」 63%
- 「6 特別に支援の必要な生徒など一人ひとりを大切にした指導を行っている」 64%

## (2) 今後の重点

- ・「10」「2」「11」より、保護者の多くは学習習慣・学習への取り組みについてあまり取り組めていないと評価している傾向がうかがえる。

しかし、生徒のアンケート結果では家庭学習の定着はやや低い傾向が見られるが、計画的に学習に取り組んでいると捉えている生徒はその限りでは無いことから、若干のギャップがうかがえる。

さらに、自己評価「9 学習の遅れがちな生徒への対策」についての項目が若干低かったことを鑑みると、学習に困難を感じている生徒に対する支援を如何に充実させていけるかが今後の課題であると思われる。

- ・「6」より、一人ひとりを大切にした指導を更に期待している事がうかがえる。

また、生徒のアンケート結果から「自分の活動について、周囲や先生から信頼されていると感じる」や「悩みや困ったことがあるときは、先生に相談ができる」の項目が60%台とやや低い傾向にある。

このことから、自己有用感、自己肯定感を高めていく支援・指導に力点を置くことが今後の課題として見えてきている。

以上のことから、以下の3項目

《きめ細かい学習支援》

《家庭学習など主体的な学びへの支援》

《自己有用感、自己肯定感の涵養》

を本校の課題と位置づけ、重点に置いて支援・指導にあたっていきたいと考える。